

令和5年度 第5回 四街道市教育振興基本計画策定委員会会議録

開催日時 令和6年2月19日(月) 14:00~15:50
場 所 市役所第二庁舎 第2会議室
出席委員 江崎会長、小宮山副会長、上田委員、能村委員、鈴木委員、後藤委員、神田委員、
山岸委員、花井委員、千脇委員、米家委員
欠席委員 福田委員、中島委員
事務局 教育部：府川教育長、石川部長
教育総務課：久保木課長、小安係長、久保主事
傍聴人 1名

会議次第

1. 開会
2. 教育長挨拶
3. 会長挨拶
4. 議題
(1) 第2期四街道市教育振興基本計画のパブリックコメントの結果報告について
5. その他
6. 閉会

議 事

議題(1) 第2期四街道市教育振興基本計画(案)について

教育総務課 (資料1、2、3を説明)
江崎議長 パブリックコメントの概要と市の対応内容は本日より市ホームページにて公表している。
質問や意見等はあるか。
教育総務課 今後計画を推進するにあたって要望等を伺い、意識しながら取組みを進めていきたい。何かありましたらご意見をいただきたい。
米家委員 1番の意見について、修正後に、「よつかいどう」と平仮名とした事は、38ページに書いてあるそれぞれの6つの力を示しているということでもわかりやすいと感じた。
千脇委員 表紙の「よつかいどう」の平仮名の所について、上の点でなく間に点を入れて区切る方が、ひとつひとつを見てほしいというイメージが伝わりやすいのではと感じた。
教育総務課 表紙のデザインは現在作成中です。分かりやすいようにレイアウトを考え、皆さまのご意見を参考に作成する。
花井委員 表紙に、38ページに記載のある、四街道の教育が育む力のそれぞれの力が書かれるということか。
教育総務課 言葉として、分かるようにそれぞれ記載することを考えている。

- 花井委員 表紙を見てから38ページに至るまで、これらの力についての説明がないので、早い段階で説明書きがあったほうがいいのではないかと感じました。
- 教育総務課 千脇委員 「はじめに」がなにも書かれていないが、ここはどのような状況か。
- 教育長 千脇委員 現在文章を考えている。
- 山岸委員 「はじめに」のスペースに四街道の教育が育む力の説明があると、冊子を開けてすぐに分かるので良いのではないかと感じた。
- 教育総務課 裏表紙はイラストなど何も書かれないのか。
- 米家委員 裏表紙は印刷業務を委託する福祉の団体名を記載したいと考えている。
- 意見の4番、学力向上策の強化の意見について、私が市内の小学校2校で支援活動に関わっている中で見ている限り、学力を向上させるために、学校の方で対策チームを作って、勉強会を開いたり講義で中学校の先生に来てもらったりと、様々な活動をしている。計画で、学力を向上させるということを書いていないわけではない。
- 上田委員 具体策は学校に委ねるべきではないかと思う。先生方の意見を伺いたい。
- 意見の3番は、計画第3章でもう一步踏み込んだ分析結果を載せるべきという意見であるが、実際に踏み込んだ分析を行うのは困難であると感じる。学力が向上しないこと、達成できていない状況の原因がどこにあるのかを示すのは難しく、学校が全部か、家庭が全部か、地域が関わるのか。様々な理由があるといわれていて、国でもなにか一つと特定できているわけではないため、このような出し方で致し方ないと感じた。33ページから37ページも同じように、達成状況が×になっている箇所が確かに多くあるが、公民館、図書館の利用者数がなぜ減っているかこれはコロナが原因ということもあるし、いろいろなことが原因のすべてを細かにしていくのは困難であると感じる。原因が確かなものであると明確な根拠を持って示すのは、難しい。事務局が出したように、資料を作成して総括の中で触れていくというふうにするしかない部分があると感じた。
- 小宮山副会長 確かに先生の言う通り、原因が100%何か明らかにできるかという絶対にはできないのは確かです。適切な方法でふんわりとやわらかな傾向は押さえておく。あとは学力調査に関して言えば、得点争いにならないようにするというは大切になっていると思う。あまり詳らかにするという事は適切ではないので、このへんで収まるのかなというのが私の意見です。
- 上田委員 学力というものの定義が変わってきて、思考力・判断力・表現力などといった様々なところで見ている。いまだもって、テストの点数で学校がつけているというように把握されてる方は非常に多いと現場の先生も実感している。テストの点数だけではない、深く考えたり話し合いをしたり、発表をする力を、トータルして学力としているということが伝わらず困っている部分がある。
- 江崎会長 教職員の多忙感解消について、待遇改善や人事的な配慮が必要になってくると思うが、これの分析は難しいと感じる。国レベルの話になると思う。

山岸委員 分析しても、市のレベルではやりきれないのではないかと思います。

千脇委員 8番について、掲載しているデータ量が少ないことは一部切り取ったように見えてしまうかもしれないが、やはり数字だけではない、正答率だけではないということを知るようにして、これはそのままでもいいのではないかと思います。子どもたちには、正答率だけでなく、人間力を高めていってほしいと思う。

鈴木委員 18番の情報リテラシーに関する説明文について、学校では情報リテラシーについて「目的に応じて、情報を適切に活用する能力」としている。このように注釈を修正することは可能か。

教育総務課 事務局で検討し、修正の必要があれば整えたい。

山岸委員 20番について伝統行事として記載されている3か所以外に実際に具体的な想定はあるか。

教育総務課 現在、想定はない。ただ、今後支援の対象となる行事が新たに出てきたときに、市として伝承を支援するためにここでは柔軟性を持たせられるよう、「等」を付けた。

山岸委員 排他的でない表現に変更されたということで、この訂正はいいと思う。

江崎会長 他にあるか。

(意見なし)

江崎会長 以上で議題を終了する。